

「小型LDL減少」が初表示

新規成分に醤油粕由来セラミド

今号の機能性表示食品届出更新一覧は、4月13日から同28日の間に消費者庁から発表された104件の届出が収載された。2023年度のI番台も4件収載された。

今回の更新では、初のヘルスクラーム「小型LDL減少」が届出された。機能性関与成分は「 α -シクロデキストリン」で、 α オリゴ糖の名称でも流通している。届出者はコサナ(神戸市中央区)。 α オリゴ糖を原材料供給しているシクロケム(同)のグループ会社。

シクロケムは近年、悪玉コレステロールと呼ばれるLDLコレステロールに比べ、小型LDLがより動脈硬化を引き起こす「超悪玉コレステロール」と訴えてきた。その中で最近の米国国立衛生研究所の研究により、

α オリゴ糖が小腸で小型LDLコレステロールを減らすことが確認された。また、一昨年秋には小型LDL測定試薬が国内で初めて製造販売承認を受けて、昨年4月から販売されている。

これを受けてシクロケムは、小型LDLが心血管機能に最も影響を与えると認識されると捉え、 α オリゴ糖に確認される小型LDL減少機能をヘルスクラームに、コサナを通じ機能表示食品の届出を行った。

このほか今回は、新規の機能性関与成分として「醤油粕由来セラミドAP」が届出された。同成分を届け出たのは、健康食品受託事業者で、セラミドメーカーのジェヌイン・アール・アンド・ディー(福岡市東区)。独自素材「ファイトセラミド」を配合したサプリメントを用いた臨

床試験で機能性を評価した。機能性表示は「本品には醤油粕由来セラミドAPが含まれるので、肌の水分を逃がしにくくし潤いを保つ機能があります」。

I番台最初の届出では、免疫への働きを訴求する3つ目の機能性関与成分が登場した。酢酸菌GK-1で「pDC(プラスマサイトイド樹状細胞)に働きかけ、健康な人の免疫機能の維持に役立つ」機能を訴求する。



■機能性表示食品 届出更新一覧 ■ 2023年4月13日～4月28日

届出番号 [提出日]	商品名／届出者	表示しようとする機能性(抜粋。太字は機能性関与成分)	区分
H1254 (2月28日)	難消化性 α オリゴ糖S／ コサナ	α -シクロデキストリンは、小型LDLを減らすことが報告されています。	サプリ

α -シクロデキストリンを機能性関与成分にしたサプリメント。
(画像は消費者庁の機能性表示食品届出データベースより一部切り抜き)